

高齢者インフルエンザ予防接種 説明書

西条市役所 予防接種担当（中央保健センター内）TEL：(0897) 52-1215

1 インフルエンザと合併症

インフルエンザは、インフルエンザウイルスが口や鼻あるいは目の粘膜から体の中に入り、感染します。数日の潜伏期間を経て、発熱やのどの痛み等の症状が出始めます。発病後、多くの方は1週間程度で回復しますが、中には肺炎や脳症等の重い合併症が現れ、入院治療を必要とする方や死亡される方もいます。これをインフルエンザの「重症化」といいます。特に基礎疾患のある方や高齢の方は重症化する可能性が高いと考えられています。

2 ワクチンの効果と副反応

インフルエンザワクチンは、接種すればインフルエンザに絶対にかからない、というものではありません。しかし、インフルエンザの発病を予防することや、発病後の重症化や死亡を予防することに関しては、一定の効果があるとされています。

ワクチン接種に伴う副反応としては、接種した場所（局所）の赤み（発赤）、はれ（腫脹）、痛み（疼痛）等が挙げられます。接種を受けた方の10～20%に起こりますが、通常2～3日で消失します。

全身性の反応としては、発熱、頭痛、寒気（悪寒）、だるさ（倦怠感）などがみられます。接種を受けた方の5～10%に起こり、こちらも通常2～3日で消失します。

また、まれではありますが、ショック、アナフィラキシー様症状（発疹、じんましん、赤み（発赤）、掻痒感（かゆみ）、呼吸困難等）がみられることもあります。

3 予防接種を受けることができない方

- 1) 明らかに発熱している方（通常は37.5℃を超える場合）
- 2) 重い急性疾患にかかっている方
- 3) 予防接種に含まれる成分によって、接種後30分以内にひどいアレルギー反応（アナフィラキシー）を起こしたことがある方
- 4) その他、予防接種を行うことが不適当な状態にあると医師が判断する方

4 次の方は接種前に医師にご相談ください

- 1) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患および血液疾患などの基礎疾患のある方
- 2) 薬の投与または食事（にわとりの肉や卵など）で発疹が出るなど異常をきたしたことがある方
- 3) 過去にけいれん（ひきつけ）の既往歴のある方
- 4) 過去にインフルエンザの予防接種を受けた時、2日以内に発熱、全身性の発疹、じんましんなどのアレルギーを疑う症状のみられた方
- 5) 過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある方、もしくは、近親者に先天性免疫不全症者がいる方
- 6) 間質性肺炎、気管支喘息などの呼吸器系疾患を有する方

5 接種後は以下の点に注意してください

- 1) 接種後30分間は、急な副反応が起こることがあります。医師（医療機関）とすぐに連絡が取れるようにしておきましょう。
- 2) 副反応の多くは、接種後24時間以内に出現しますので、この間は特に体調に注意しましょう。
- 3) 接種当日の入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすことはやめましょう。
- 4) 接種当日は接種部位を清潔に保ち、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
- 5) 接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けてください。